

団体名：社会福祉法人 楽友会（多摩市）

活動内容：高齢者福祉施設、在宅介護サービスなどを運営



設立：1968年

代表者名：田村一夫

法人スタッフ：

専従スタッフ 92人

パートタイムスタッフ 87人

ボランティアスタッフ 約160人

1968年に軽費老人ホームを開始。その後特別養護老人ホーム、在宅サービス（デイサービス、ホームヘルパー等）へと展開。現在は2つの入所施設と委託事業を含めて6つの在宅サービス事業を行っています。約半世紀にわたり社会福祉法人として地域貢献に努めてきました。

法人の事業概要

法人施設の環境、活動の様子など

法人キャッチコピー

人と人を笑顔でつなぐ

現在の事業

- ▶ 軽費老人ホーム 偕楽荘（入居者定員50名）
- ▶ 特別養護老人ホーム 白楽荘（入居者定員150名）
- ▶ 白楽荘短期入所生活介護（1日利用定員10名）
- ▶ 白楽荘在宅サービスセンター通所介護（1日利用定員35名）
- ▶ 認知症対応型通所介護ほのぼの（1日利用定員12名）
- ▶ 白楽荘訪問介護事業所
- ▶ 白楽荘居宅介護支援事業所
- ▶ 多摩市多摩センター地域包括支援センター（受託）
- ▶ シルバーピア生活協力員派遣（受託）

法人施設と周囲の様子



特別養護老人ホーム 白楽荘

▶ 特別養護老人ホーム（長期入所）

日常生活に介護が必要な方の生活の場として、入浴、排泄、食事の介助など日常生活上のお世話や日常動作訓練などのサービスを提供します。

▶ 短期入所生活介護（ショートステイ）

ご家族が何らかの都合で一時的に介護ができない場合やご不在となる時などに、短期間施設に宿泊いただきます。その間にご家族に代わって施設が介護サービスを提供します。

▶ ご利用できる方

介護保険の要介護認定で「要介護3」「要介護4」「要介護5」と認定された方。ショートステイは「要支援」「要介護1または2」の方でもご利用いただけます。

白楽荘在宅サービスセンター

▶ 通所介護

地域で暮らす高齢者の方に日帰りで通所していただき、趣味活動・レクリエーション・生活リハビリ等のサービスを提供します。ご自宅での生活が元気に継続できるよう支援します。

▶ 認知症対応型通所介護ほのぼの

地域で暮らす認知症高齢者の方に日帰りで通所していただき、趣味活動・レクリエーション・作業療法的な活動を通して穏やかにご自宅での生活が続けられるよう支援します。少人数（定員12名）での対応を行います。

▶ ご利用できる方

介護保険の要介護認定で「要支援」または「要介護」と認定された方。

軽費老人ホーム 偕楽荘

60歳以上の方で、家庭環境や住宅事情により、居宅において生活が困難な方を対象とした施設サービスです。食事の提供や生活相談などの支援を行います。近年は介護予防に力を入れ、いつまでも健康で自立した生活が送れるよう取り組んでいます。

▶ 利用条件

1. 東京都にお住まいの60歳以上の方
2. 健康で身のまわりのことが自分で出来る方
3. 利用される方の収入（年金等）が月額で10.5万円から32万円程度の方
4. 保証人2名（うち1名は都内居住者）をたてられる方

プロボノプロジェクトへの参加 法人として感じていた課題

多摩ニュータウン地域の高齢化と今後の法人の取組み

多摩市の高齢者状況

平成26年12月1日（当時）

多摩市総人口 14万7548人

高齢者人口 3万7358人

高齢化率 25.32%

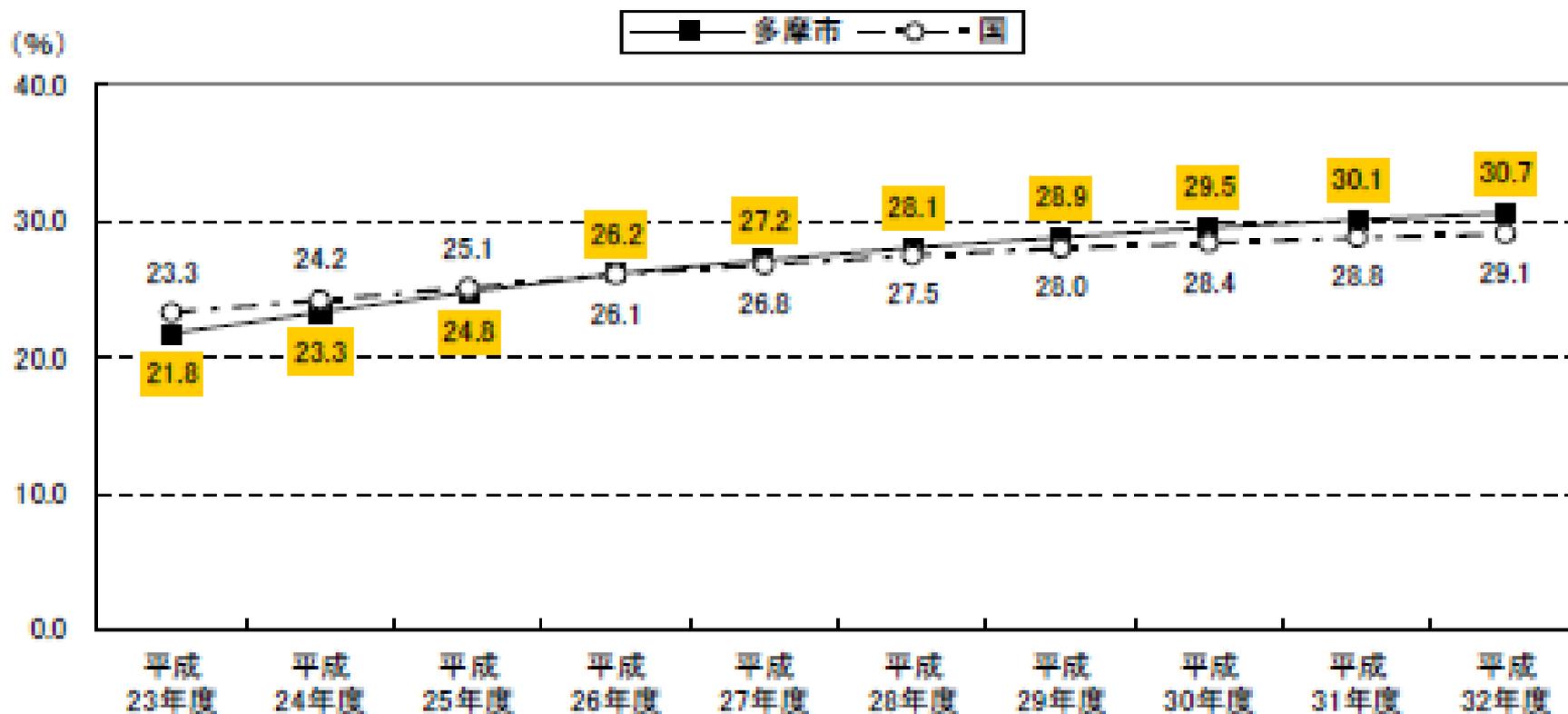
65歳以上の一人暮らし 9337人

65歳以上のみ世帯 7771世帯
(1万5593人)



多摩市航空写真

多摩市の高齢者状況



出典：多摩市高齢者保健福祉計画（平成24～26年度）

多摩市の高齢者状況

多摩市高齢者人口推移予測

		平成26年度 (平成27年1月1日)		平成32年度 (平成33年1月1日)		平成37年度 (平成38年1月1日)		
人口	(人)	147,486	100.0%	145,023	100.0%	144,173	100.0%	
世帯数	(世帯)	68,528	-	71,674	-	74,031	-	
1世帯当たり人数	(人/世帯)	2.15	-	2.02	-	1.95	-	
年少人口	0~14歳(人)	17,925	12.2%	16,029	11.1%	14,104	9.8%	
生産年齢人口	15~64歳(人)	92,044	62.4%	84,793	58.5%	83,088	57.6%	
高齢者	前期高齢者	65~74歳(人)	22,150	15.0%	21,217	14.6%	16,744	11.6%
	後期高齢者	75歳以上(人)	15,367	10.4%	22,984	15.8%	30,237	21.0%
	高齢者人口	65歳以上(人)	37,517	25.4%	44,201	30.5%	46,981	32.6%

出典：多摩市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成27～29年度）

多摩市の高齢者の状況

	平成12年度	平成23年度	平成26年度	平成37年度（推計値）
高齢化率	11.42%	21.77%	25.44%	32.59%
後期高齢者の割合	4.02%	8.80%	10.42%	20.97%
要介護認定率（65歳以上）	9.59% (4月1日現在)	11.69% (4月1日現在)	12.77% (4月1日現在)	22.88% (1月1日現在)
ひとり暮らし高齢者世帯の割合	6.06%	11.52%	13.71%	17.56%
高齢者のみ世帯の割合	4.87%	9.68%	11.41%	14.62%
認知症高齢者の割合	2.00% (4月1日現在)	6.40% (4月1日現在)	6.78% (4月1日現在)	13.60%

出典：多摩市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（平成27～29年度）

楽友会が取り組むべきこと。
地域に必要とされることはなんだろう。

- ▶ 今後の取り組みの方向性は？
- ▶ 東京ホームタウン
- ▶ プロボノプロジェクトへの依頼
- ▶ マーケティングのプロに地域の声を聞いてもらい、法人の取り組みについて提案してもらおう！

長期ビジョンの策定

まずは地域の声を聞いてみたい。いろいろな立場の人の意見を集めてみたい

地域の方や関係者にヒアリングを実施できないか

東京ホームタウンプロジェクトの支援内容（2015年度）： マーケティング基礎調査

主なヒアリング内容（質問事項）

質問① 認知症になったら、許容できるか聞いていますか？

自分が認知症になったときのことを考えている = 13/13.

認知症の問題と同じくらいの問題は、耳の悪いひととの接し方。

認知症の住民が、近隣の家のドアを叩いたり、子供をなだめて追いかけまわし、警察沙汰になったことがあった。ただ、自治会としてどこまで介入していいかわからない。

認知症カフェの取組。認知症の家有することは大事。

認知症が治るものをもっと伝えるべく、**周りの対応が重要をもっと共有すべき**

近所をみていると痛そう。そういう話はきかなくていいか？

課題② 介護サービス（事業所）を選ぶ基準

安心感のあるところ。まずは知っているか、**馴染み**があるか。知人がいるか。

透明性。施設内が見学できたり、家族の人がいつでもはいれたり、様々なボランティアのひとを受け入れていたり。流動性があるか。

住民の求めるサービス（自治会へのコミュニティ育成支援）

■ 住民満足度の高い自治会の情報展開。イベント・サービスメニューの充実

現状

- 人が集まらない（住民のわからない）
- 自治会運営者
- 協力が面倒（情報できないための情報開示したくない）
- よき相談相手
- 民生委員・包括センター
- 介護サービス業者
- 楽友会

今後

- 住民情報わかるイベントにきてくれる
- 自治会運営者
- 協力しよう情報提供しよう
- よき相談相手
- 民生委員・包括センター
- 楽友会
- コミュニティをよくしてくれるしるしなことをしてくれる

閉鎖的で周囲に頼らない

住民 地域との交流が生まれ、何かあった際の頼れる存在ができる

イベントに人が集まらない 住民情報が得られない

自治会 イベントに人が集まる 住民情報を得ることが出来る

現在困っていて、周りに頼ることができる人達へのサービス

楽友会 現在困っているが、周りに頼りづらい人達へのサービス

do it pro bono. 14 Doc#-version# SERVICE GRANT

（実際の成果物）

目的： 高齢化問題に楽友会ができる取り組み、施設の有効活用の検討

支援内容：

著しく高齢化の進むニュータウン地区での高齢化問題を、楽友会として（または他団体との連携により）解決できる手段を検討。プロジェクトでは、地域のご高齢者34名の方のヒアリングを実施することで、「生の声」を元にした、地域のニーズに応える提案をしました。

東京ホームタウンプロジェクト

マーケティング基礎調査の結果からの提案（実際の成果物より抜粋）

